



2021年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年4月8日

上場会社名 日本フィルコン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5942 URL <https://www.filcon.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)名倉 宏之
 問合せ先責任者 (役職名)専務取締役管理・経営企画管掌 (氏名)齋藤 芳治 (TEL) 042-377-5711
 兼経営企画室長
 四半期報告書提出予定日 2021年4月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年11月期第1四半期の連結業績(2020年12月1日～2021年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年11月期第1四半期	5,402	△1.8	3	—	80	880.4	63	142.7
2020年11月期第1四半期	5,498	△8.4	△58	—	8	△94.5	26	△77.1

(注) 包括利益 2021年11月期第1四半期 534百万円 (592.6%) 2020年11月期第1四半期 77百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年11月期第1四半期	2.98	—
2020年11月期第1四半期	1.21	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年11月期第1四半期	37,621	20,081	52.6
2020年11月期	36,997	19,666	52.4

(参考) 自己資本 2021年11月期第1四半期 19,804百万円 2020年11月期 19,402百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円
2020年11月期	—	6.00	—	6.00	12.00
2021年11月期	—	—	—	—	—
2021年11月期(予想)	—	6.00	—	6.00	12.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年11月期の連結業績予想(2020年12月1日～2021年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,600	8.5	350	216.8	600	7.8	250	—	11.65

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年11月期1Q	22,167,211株	2020年11月期	22,167,211株
2021年11月期1Q	881,578株	2020年11月期	900,478株
2021年11月期1Q	21,278,508株	2020年11月期1Q	21,568,371株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注)期末自己株式数には、従業員持株ESOP信託が保有している当社株式(2021年11月期第1四半期347,300株、2020年11月期366,200株)を含めております。また、従業員持株ESOP信託が保有している当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により依然として厳しい状況であります。海外経済もパンデミックが終息せず、景気は大きく落ち込んでおります。

このような状況のなか、当社グループの経済活動は一部持ち直してきているものの、依然として厳しい状況が続いております。当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高は5,402百万円（前年同期比1.8%減）、営業利益は前年同期と比べ経費が減少したことにより3百万円（前年同期営業損失58百万円）となりました。経常利益は助成金収入などにより80百万円（前年同期比880.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は63百万円（前年同期比142.7%増）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

①産業用機能フィルター・コンベア事業

産業用機能フィルター・コンベア事業は以下の分野で構成されます。

製紙製品分野	紙を抄くために使われる網(ワイヤー)の製造・販売
その他産業用フィルター・コンベア分野	「ふるい分け」・「ろ過」・「搬送」用の工業用金網の製造・販売

製紙製品分野では、新型コロナウイルス感染症の影響が依然として継続しており、国内においては紙の需要が減少し、海外においては販売活動が制約されております。そのため、売上高は国内海外ともに前年同期と比べ減少いたしました。

その他産業用フィルター・コンベア分野では、食品業界向けを中心にコンベアベルトの販売が減少したことや苛性ソーダ生成用金網の受注も減少しており、売上高は前年同期と比べ減少いたしました。

結果、当セグメントの外部顧客への売上高は3,729百万円（前年同期比7.7%減）、営業利益は112百万円（前年同期比38.5%減）となりました。

②電子部材・フォトマスク事業

電子部材・フォトマスク事業は以下の分野で構成されます。

エッチング加工製品分野	金属材料・複合フィルム材料をエッチング加工した製品の製造・販売
フォトマスク製品分野	半導体・ディスプレイ・プリント基板・MEMSなどを製造するときに使用されるツールで、パターニングの原版となるフォトマスクの製造・販売

電子部品業界は、自動車業界の回復や災害の影響により一部で半導体供給が逼迫するほどの活況となっております。一方で新規開発や既存製品のアップデートにつきましては進捗に遅れが出ております。

エッチング加工製品分野では、製造装置の仕入販売を計上したことなどにより売上高は前年同期と比べ増加いたしました。

フォトマスク製品分野では、一部で需要が高まっているものの得意先の新規開発などの進捗は停滞しており、売上高は前年同期並みとなりました。

結果、当セグメントの外部顧客への売上高は1,059百万円（前年同期比19.4%増）、営業利益は売上高の増加と経費の減少により27百万円（前年同期営業損失80百万円）となりました。

③環境・水処理関連事業

環境・水処理関連事業は、プール・ろ過装置の設計・販売や防波堤に用いられる消波ブロック向け高比重コンクリート(Gコン)、天然ガスパイプラインの腐食・ガス漏れを防ぐ絶縁継手の販売などを行っております。

建設業界では新型コロナウイルス感染症の影響により民間投資意欲が減退しておりましたが、徐々に持ち直してきております。当第1四半期連結累計期間においてはプールおよびろ過装置の修繕工事が増加いたしました。

結果、当セグメントの外部顧客への売上高は357百万円（前年同期比16.9%増）、営業損失は25百万円（前年同期営業損失44百万円）となりました。

④不動産賃貸事業

不動産賃貸事業は、当社が保有する不動産を店舗・マンション・駐車場等として賃貸しております。

既存の賃貸物件のうち一部が契約終了となった結果、当セグメントの外部顧客への売上高は255百万円（前年同期比2.9%減）、営業利益は193百万円（前年同期比3.7%減）となりました。

（注）各セグメントの営業利益の合計額と連結業績における営業利益との差異306百万円（前年同期比3.8%減）は、主として各セグメントに配分していない全社費用であります。

（2）財政状態に関する説明

流動資産は、前連結会計年度末に比べ152百万円増加し、16,977百万円となりました。これは主として、現金及び預金が47百万円、その他が119百万円それぞれ減少した一方で、受取手形及び売掛金が255百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ471百万円増加し、20,643百万円となりました。これは主として、投資有価証券が431百万円増加したことによるものであります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ624百万円増加し、37,621百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ201百万円増加し、11,854百万円となりました。これは主として、その他が463百万円減少した一方で、短期借入金が515百万円、賞与引当金が183百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ7百万円増加し、5,686百万円となりました。これは主として、長期借入金が75百万円減少した一方で、その他が95百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ209百万円増加し、17,540百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ414百万円増加し、20,081百万円となりました。これは主として、其他有価証券評価差額金が282百万円、為替換算調整勘定が197百万円それぞれ増加したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年11月期の連結業績予想につきましては、2021年1月13日公表の業績予想から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,972,489	3,925,205
受取手形及び売掛金	6,107,968	6,363,007
商品及び製品	3,323,762	3,322,062
仕掛品	1,499,578	1,522,303
原材料及び貯蔵品	1,324,865	1,369,836
その他	631,311	511,985
貸倒引当金	△34,431	△36,632
流動資産合計	16,825,545	16,977,768
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,466,311	5,428,803
機械装置及び運搬具(純額)	2,304,937	2,313,092
土地	4,277,712	4,296,001
その他(純額)	524,584	486,054
有形固定資産合計	12,573,545	12,523,950
無形固定資産		
のれん	292,363	280,993
その他	256,830	261,393
無形固定資産合計	549,193	542,386
投資その他の資産		
投資有価証券	3,994,891	4,426,396
リース投資資産	444,785	439,537
その他	2,615,554	2,717,694
貸倒引当金	△6,062	△6,062
投資その他の資産合計	7,049,168	7,577,565
固定資産合計	20,171,908	20,643,903
資産合計	36,997,453	37,621,671

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,066,490	3,066,746
短期借入金	5,046,037	5,561,982
1年内返済予定の長期借入金	641,115	606,800
未払法人税等	76,729	76,457
賞与引当金	66,038	249,251
その他	2,756,107	2,292,814
流動負債合計	11,652,518	11,854,052
固定負債		
長期借入金	3,468,015	3,392,658
退職給付に係る負債	143,168	138,623
環境対策引当金	98,900	98,900
長期預り敷金保証金	1,061,128	1,053,898
資産除去債務	84,451	83,899
その他	822,826	918,295
固定負債合計	5,678,490	5,686,275
負債合計	17,331,009	17,540,328
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,685,582	2,685,582
資本剰余金	1,912,403	1,912,403
利益剰余金	14,089,265	14,022,917
自己株式	△467,850	△458,494
株主資本合計	18,219,401	18,162,408
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	795,527	1,077,641
為替換算調整勘定	74,155	272,030
退職給付に係る調整累計額	313,716	292,369
その他の包括利益累計額合計	1,183,400	1,642,040
非支配株主持分	263,642	276,894
純資産合計	19,666,444	20,081,343
負債純資産合計	36,997,453	37,621,671

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年12月1日 至2020年2月29日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年12月1日 至2021年2月28日)
売上高	5,498,898	5,402,356
売上原価	3,585,997	3,673,413
売上総利益	1,912,900	1,728,943
販売費及び一般管理費	1,971,315	1,725,874
営業利益又は営業損失(△)	△58,414	3,068
営業外収益		
受取利息	2,015	2,602
受取配当金	14,864	15,628
持分法による投資利益	58,523	26,947
助成金収入	—	40,177
その他	46,196	32,005
営業外収益合計	121,600	117,362
営業外費用		
支払利息	16,823	14,398
その他	38,124	25,270
営業外費用合計	54,948	39,669
経常利益	8,237	80,761
税金等調整前四半期純利益	8,237	80,761
法人税等	△23,556	8,764
四半期純利益	31,793	71,997
非支配株主に帰属する四半期純利益	5,656	8,547
親会社株主に帰属する四半期純利益	26,137	63,449

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年2月29日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年12月1日 至 2021年2月28日)
四半期純利益	31,793	71,997
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△176,024	282,113
繰延ヘッジ損益	781	—
為替換算調整勘定	196,077	194,111
退職給付に係る調整額	△18,422	△21,347
持分法適用会社に対する持分相当額	43,021	7,968
その他の包括利益合計	45,433	462,845
四半期包括利益	77,227	534,842
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	64,945	522,089
非支配株主に係る四半期包括利益	12,282	12,753

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(2)会計上の見積りに記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年12月1日 至 2020年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	産業用機能 フィルター・ コンベア事業	電子部材・ フォト マスク事業	環境・水処理 関連事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,041,875	887,864	305,702	263,455	5,498,898	—	5,498,898
セグメント間の内部 売上高又は振替高	153	525	90	—	768	△768	—
計	4,042,029	888,389	305,792	263,455	5,499,667	△768	5,498,898
セグメント利益 又は損失(△)	183,677	△80,605	△44,274	201,380	260,178	△318,592	△58,414

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△318,592千円は、内部取引にかかわる調整額△293千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△318,299千円であります。全社費用は、当社の本社部門等にかかる費用であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年12月1日 至 2021年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	産業用機能 フィルター・ コンベア事業	電子部材・ フォト マスク事業	環境・水処理 関連事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,729,354	1,059,757	357,313	255,931	5,402,356	—	5,402,356
セグメント間の内部 売上高又は振替高	220	257	—	—	477	△477	—
計	3,729,575	1,060,014	357,313	255,931	5,402,834	△477	5,402,356
セグメント利益 又は損失(△)	112,931	27,845	△25,304	193,959	309,432	△306,364	3,068

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△306,364千円は、内部取引にかかわる調整額△20千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△306,344千円であります。全社費用は、当社の本社部門等にかかる費用であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。